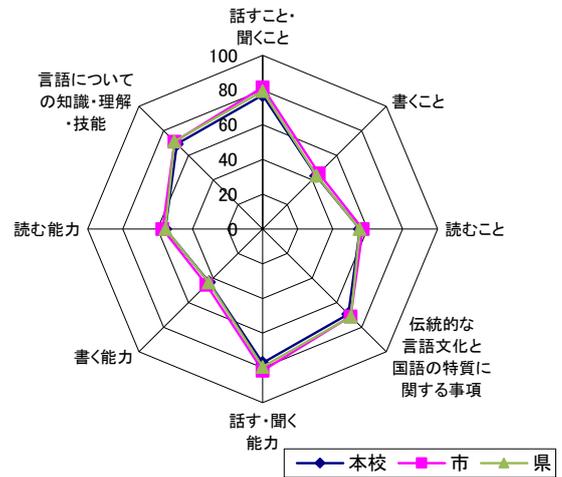


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	77.1	81.6	79.4
	書くこと	43.4	45.4	43.6
	読むこと	55.6	57.2	55.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.2	71.1	71.4
観点	話す・聞く能力	77.1	81.6	79.4
	書く能力	43.4	45.4	43.6
	読む能力	55.6	57.2	55.5
	言語についての知識・理解・技能	69.2	71.1	71.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、県の平均と比べてやや低い。</p> <p>○話し合い活動における司会者の役割は理解しており、発言者の話を聞いて、意見を整理する問題の平均正答率は、県の平均を3ポイント上回っている。朝の会等での司会の経験が生かされてきた成果であると考えられる。</p> <p>●理由をあげながら筋道を立てて話すことでの平均正答率は県の平均を9ポイント下回っている。「理由は」という言葉があるにもかかわらず、発言者が話している内容を理解できていない児童が多く見られる。</p>	<p>・国語以外の教科や学級活動などの話し合い活動でも、自分の意見を発言する際には、その根拠を明らかにさせるなど、分かりやすい発言のしかたを意識させて活用させていく。</p> <p>・相手の話の内容がきちんと理解できるよう、教科の学習や朝の会・帰りの会などの時間も活用し、話を聞き方を継続的に指導していく。</p>
書くこと	<p>平均正答率は県の平均とほぼ同じである。</p> <p>○報告レポートを見て、その書き方の工夫を答える選択問題の平均正答率は、県の平均とほぼ同じである。</p> <p>●メモを利用して、レポートの内容に沿って具体的に書く設問の平均正答率は29.3%であり、県の平均を4ポイント下回っており、無解答率も高い。</p>	<p>・メモや資料をもとに、分かったことを具体的に表現する時間を設け、何をどのように書けばよいか指導していく。また、文章を書く際には、求められている形で表現することもしっかり確認させる。</p> <p>・ステップアップ学習やフォローアップシートでの振り返り学習において、記述学習に抵抗がなくなるよう取り組ませる。</p>
読むこと	<p>平均正答率は、県の平均とほぼ同じである。</p> <p>○説明文を読み取る設問の平均正答率は91.9%と県の平均を4ポイント上回っている。文章の要点や細かい点に注意しながら読み、整理する力は記述式の設問の平均正答率は63.6%だが、県の平均は5.3ポイント上回っている。</p> <p>●叙述を基に登場人物の気持ちを想像して読む力に課題が見られ、県の平均を6ポイント下回っている。</p>	<p>・現在取り組んでいる読書活動を生かし、物語文を読む機会を増やす一方、心に残った場面や感想等を短文でまとめさせる活動を加えていく。</p> <p>・「読むこと」についても、ステップアップ学習やフォローアップシートでの振り返り学習において取り組ませる。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、県平均と比べてやや低い。</p> <p>○漢字の読みは設問によって県の平均と比べ正答率が高いものがある。</p> <p>●国語辞典の使い方の正答率が42.4%と県の平均を27.9ポイント下回っている。また、ローマ字の活用や指示語の役割など、言葉の学習に課題が見られる。</p>	<p>・日々の学習の中で一つ一つの言葉を丁寧に扱い、難解語句はもちろん知っているつもりの言葉であってもその意味をきちんと説明できない言葉は国語辞典・漢字辞典を活用して積極的に調べるなど、辞書に慣れ親しませる。</p> <p>・掲示物にローマ字表現を取り入れたり、パソコン利用の際にローマ字入力を行わせたりするなど、ローマ字に慣れ親しませる。</p>